

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)・ 鋼製シェード工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
<p>【評価対象項目】 [工場製作関係]</p> <input type="checkbox"/> 1. 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. その他(理由) <p>[架設関係]</p> <input type="checkbox"/> 12. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有することを認識していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 現場塗装において、温度、湿度及びその他気象状態の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. その他(理由)																																					
<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																					

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。